組手什配布のための手引き

組手什は、仮設住宅での暮らしに向けて、自在な要望に応える棚組み立て資材です。
愛知県では、支援を募って組手什を生産しました。

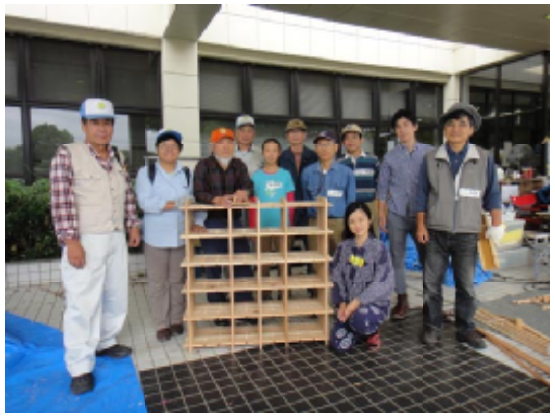
道具など、要るもの
・運搬車　長さ2m　です。20枚で梱包。　2mx15cmx8cm　8kg　あります。
・道具（カット用据え置き丸鋸、のこぎり、木槌）
・人手　3人以上。当日は、現地の被災者に手伝っていただきます。たのしいイベントになります。
なお、熊本のどこかへ3千本弱の置き場所を探しています。そこから逐次配布いただきます。現在は未定です。　2mX1m　高さ1m　2梱包、　2つで1．5t　くらいです。

手順
1，配布先の選定、打ち合わせ、作るものを選定、準備
　仮設住宅、避難所、集会場、などに、棚の要望があれば打ち合わせてください。
　何をいくつ作るか。どこに置くか、表の作成
2，材の準備。本数の確定、道具の手配
　作るモノに応じて、部材数を算出してください。必要に応じて、カットします。
3，当日は、楽しいイベントとして組み立てを行ってください。
　カットしてあれば、一つおおよそ、30分ほどで組み上がります。
　丸鋸があれば、要望に応じて、その場でカット、組み立てに対応が出来ます。
4，アドバイス
　　・個人1件あたり、30～40本（2M）　位を目安にします。
　　・濡れても支障はありません。すぐ乾きます。ただちょっときつくなる。
　　・最初は、はめるだけで強度が出ます。接着剤、ビスは要りません。
　　・はめあいが弱いときは、紐で縛る。
　　・大型のモノでは、木ねじでで固定。その場合は両端の材を固定してください。

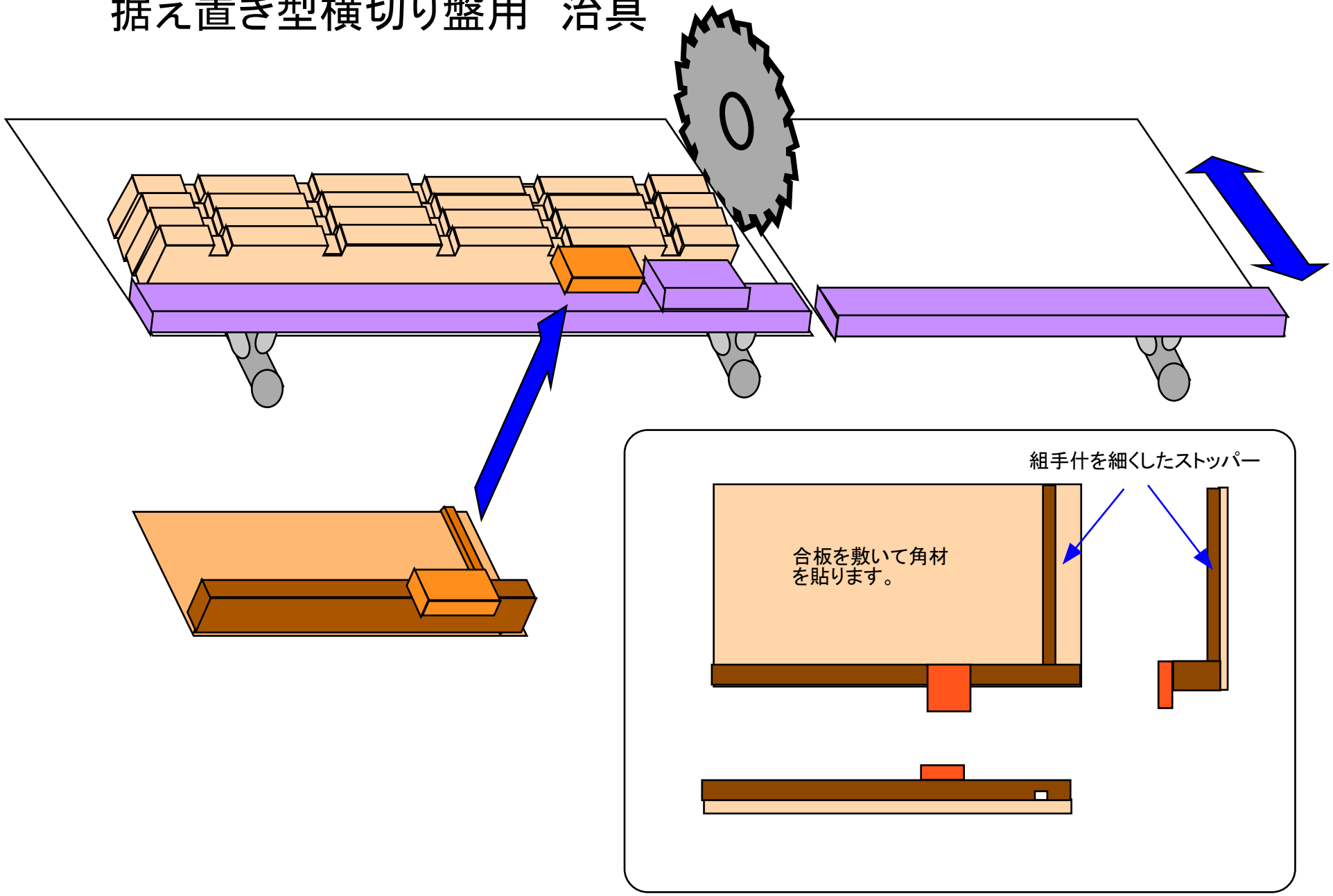
仮設住宅での活用
ちょっと小さめの棚

組手什おかげまわし東海
長坂　洋
名古屋市東区矢田東1口７
長坂木材
Tel　052-711-5257
090-3448-1800
nagasaqa@live.jp

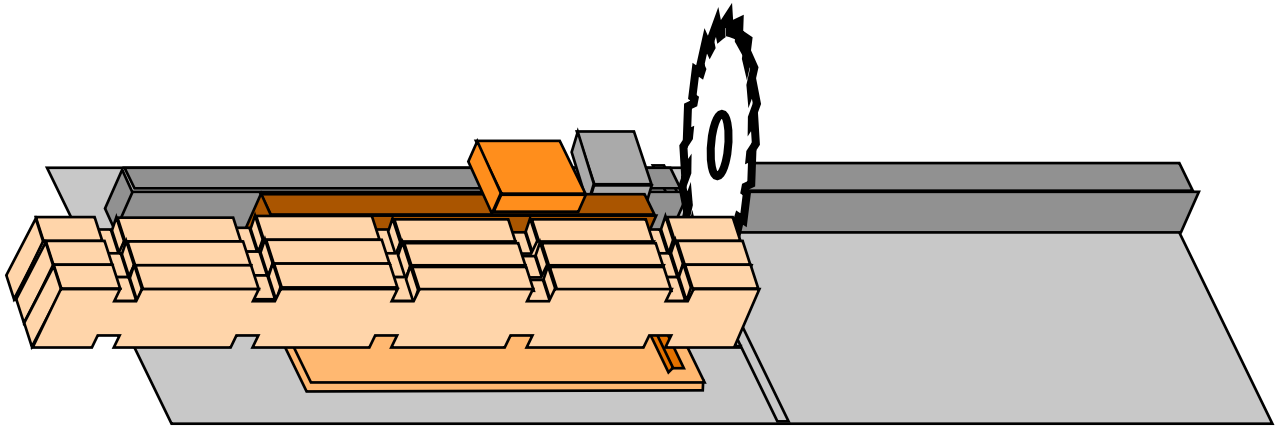
避難所、主会場などで

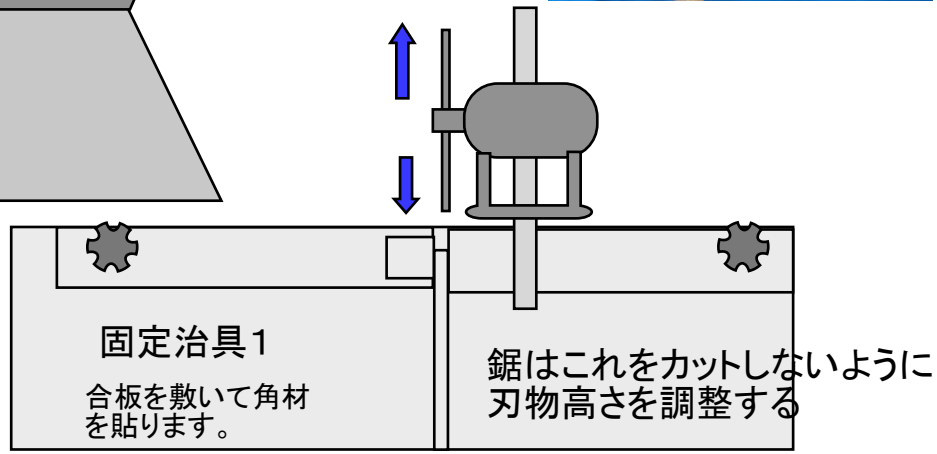


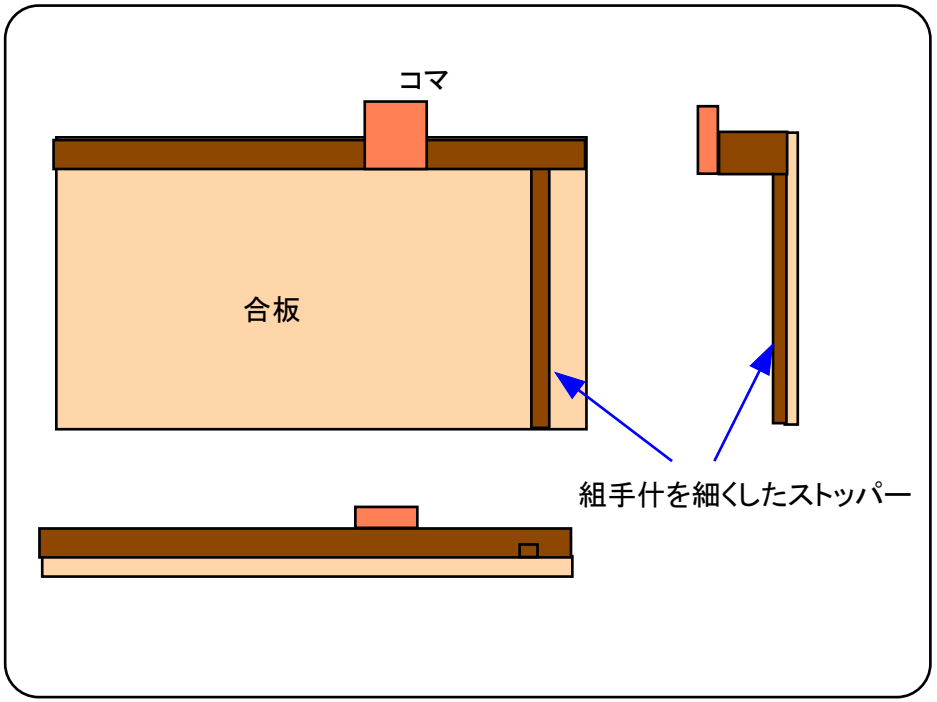
据え置き型横切り盤用　治具



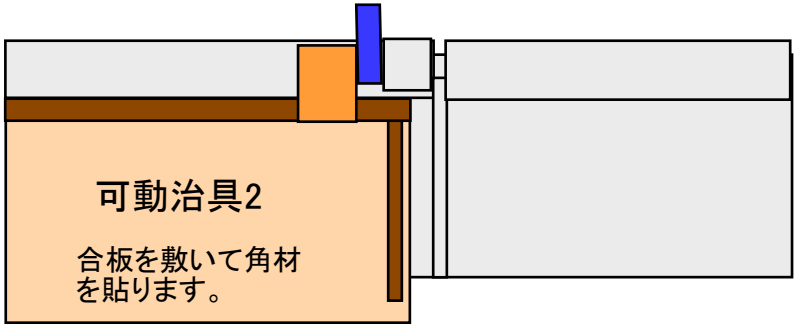
電動スライド丸鋸用　カット治具



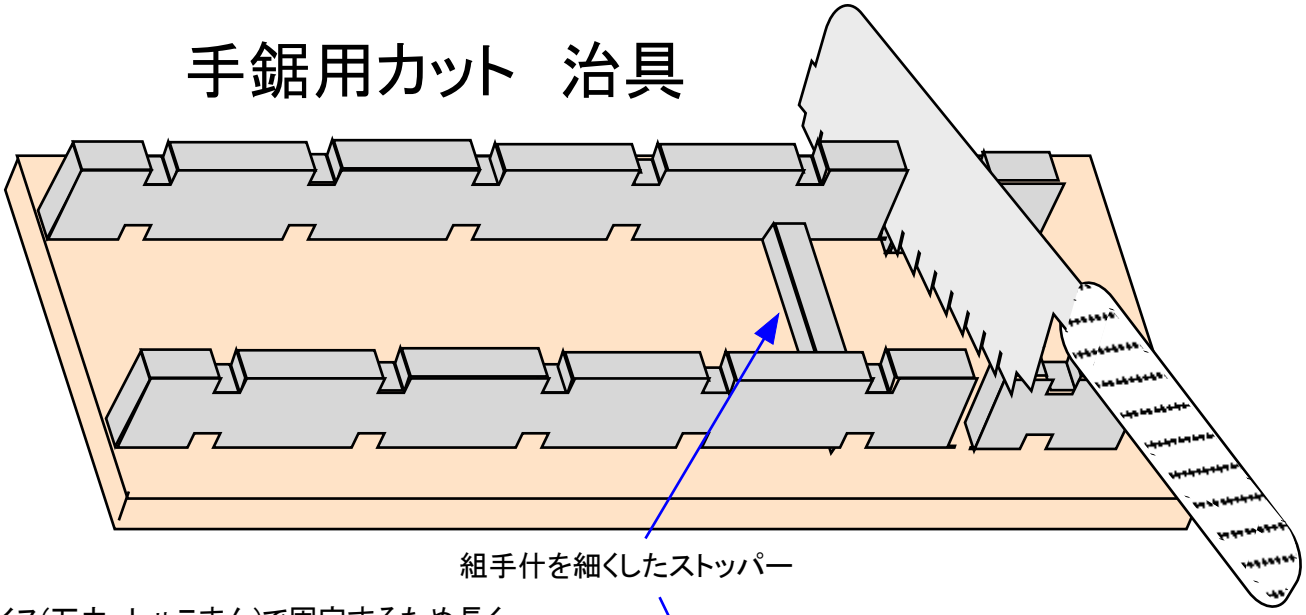
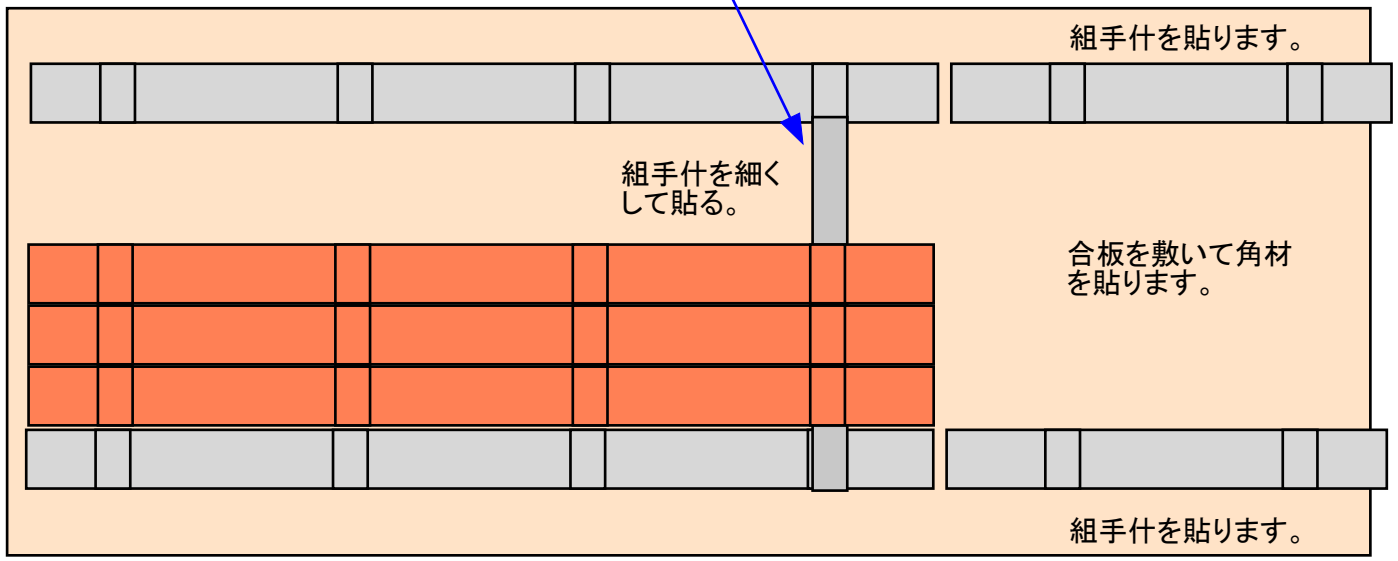




カット位置調整用　木片



手鋸用カット　治具



バイス(万力、しゃこまん)で固定するため長く